

2024 年 12 月 24 日（第 3.1 版）
臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報／保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号、令和 5 年 3 月 27 日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 閉塞性大腸癌に対する金属ステント留置による癌微小環境の変化の解明と原発巣切除後の予後に関連する因子を探索する研究

[研究代表機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 渥美 達也

[研究代表者名・所属] 武富 紹信・北海道大学病院消化器外科 I

[共同研究機関・研究責任者名・機関の長の氏名]

市立函館病院・中西 一彰・森下 清文

釧路労災病院・小笠原 和宏・篠原 信雄

[研究の目的]

検討 I :

閉塞性大腸癌の金属ステント留置後に手術をうけた患者さん、および閉塞が起こらなかった大腸癌の患者さんの手術後の経過とそれを予測できる病理学的情報を同定するため

検討 II :

閉塞性大腸癌の金属ステント留置後に手術をうけた患者さんの手術後の経過とそれを予測できる免疫学的情報を同定するため

[研究の方法]

○対象となる患者さん

閉塞性大腸癌の患者さんで、

検討 I は 2009 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの間に北海道大学病院、市立函館病院、および釧路労災病院で手術治療を受けた方、

検討 II は北海道大学病院では 2014 年 5 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日まで間に、市立函館病院および釧路労災病院では 2021 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの間に手術治療を受けた方で、手術時に切除した腫瘍組織検体が保管されている方。検討 II は市立函館病院および釧路労災病院の患者さんは文書を用いて研究の同意を得られた方。

○利用する検体・情報

（検討 I）病理組織検査で使したプレパラート

2024 年 12 月 24 日（第 3.1 版）

（検討 II）病理組織検査で使用したプレパラートおよび手術時に切除した腫瘍組織検体
（検討 I・II 共通）診療情報：診断名、年齢、性別、身体所見、病歴、検査結果（血液
検査、画像検査、病理組織検査）、手術関連情報、手術後の経過

○送付方法

この研究は、閉塞性大腸癌の患者さんの治療を行っている北海道大学病院、市立函館病院および釧路労災病院で実施します。上記の検体のうち、市立函館病院および釧路労災病院の検体は、病理組織検査および免疫組織検査のために、北海道大学に送付します。なお、本研究に参加いただくことで追加になる検査および今後の診療に支障をきたすことはありません。また、上記の診療情報のうち、市立函館病院および釧路労災病院の情報は、臨床情報の解析のために、北海道大学に電子的配信で送付します。

[研究実施期間]

実施許可日(検体・情報の利用開始：2024年3月頃)～2028年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの検体・情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院（研究代表機関）の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院消化器外科 I 担当医師 今泉 健

電話 011-706-5927 FAX 011-717-7515

[市立函館病院（共同研究機関）の連絡先・相談窓口]

住所：北海道函館市港町 1 丁目 10 番 1 号

医療機関名：市立函館病院 担当医師：中西 一彰

電話：0138-43-2000 FAX：0138-43-4426

[釧路労災病院（共同研究機関）の連絡先・相談窓口]

住所：北海道釧路市中園町 13 番 23 号

医療機関名：釧路労災病院 担当医師：小笠原 和宏

電話：0154-22-7191 FAX：0154-25-7308